

令和6年度 百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議 事業報告（案）

令和6年度においては、次のとおり事業を実施した。

I 保存活用会議運営にかかる総合調整事業

1 保存活用会議の運営

- 令和6年5月15日
第10回百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議（書面開催）
 - ・下記について承認
（議案）
 - （1）令和5年度事業報告（案）について
 - （2）令和5年度決算（案）について

- 令和7年3月26日
第11回百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議（書面開催）
 - ・下記について承認
（議案）
 - （1）令和7年度事業計画・予算（案）について
（報告）
 - （1）令和6年度事業報告（2月20日現在）について
 - （2）令和6年度決算見込み（2月20日現在）について

2 同会議専門部会の運営

保存活用会議規約第9条第9項に基づく資産専門部会、緩衝地帯専門部会、来訪者対策専門部会の3つの専門部会を運営し、今後の保存管理のあり方等について検討を行った。また、各部会において、モニタリングを実施し、2024（令和6）年次報告書を作成した。

① 資産専門部会の取組

- ・ 史跡整備基本計画の遺産影響評価の実施
- ・ 各市における事業について、遺産影響評価詳細分析の要否について検討
- ・ 各市で実施する構成資産の調査や整備事業の内容について情報を共有

② 緩衝地帯専門部会の取組

- ・ 今年度は緩衝地帯専門部会において協議・調整を要する開発がなかったため、部会は開催しなかった。

③ 来訪者対策専門部会の取組

- ・登録後の来訪者の動向分析
- ・世界遺産登録5周年イベントの開催計画
- ・「世界遺産『百舌鳥・古市古墳群』デジタルメディアを活用した情報発信事業」の実施検討
- ・各種 PR ツールの改訂検討
- ・令和7年度事業の検討

II 資産等保存管理事業

1 ユネスコ等への情報提供、報告

- ・追加的勧告への対応（※英文による）

第43回世界遺産委員会の登録決議文で示された追加的勧告のうち、イコモスからのテクニカルレビューに回答する必要があるものとして、羽曳野市本庁舎建替整備事業の遺産影響評価について、報告文作成を行った。

- ・保全状況報告書の作成

文化庁からの依頼に基づき、資産の現状およびその保存管理の概況等をまとめる『世界遺産一覧表記載資産保全状況報告書』を作成し、令和7年4月11日に提出した。

2 遺産影響評価について

追加的勧告で求められた「遺産影響評価の手続き」によって策定した世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」遺産影響評価マニュアルに基づき、各市で計画された事業について遺産影響評価手続きを実施した。

3 資産等保存管理事業

- ・史跡整備基本計画の遺産影響評価

世界遺産委員会登録決議文の追加的勧告 c)「史跡指定されている構成資産に対して準備されている整備基本計画を完成させること。その際、計画と保存の目的および顕著な普遍的価値の保護との間の整合性を確実に担保すること」への対応のため、史跡整備基本計画の遺産影響評価を実施し、報告文作成と英訳作業を行った。

- ・水質調査

世界遺産委員会登録決議文において濠の水質が資産にネガティブな影響を与える要因として保全上の圧力になると指摘されていることから、構成資産18基を対象に水質調査を実施した。夏季と冬季に調査することにより、1年間における水質の変化を把握することができた。

III 来訪者対策事業

1 5周年記念事業の実施

世界遺産登録5周年を記念して、あべのハルカス近鉄本店において、2日間にわたり、ステージイベントや名産品ショップの出店、古墳群パネル展示などを実施した。また、各会場をスタン

プラリーでつなぎ、世界遺産裏話や古代衣装着用体験等の関連イベントも同時に実施し、約2,400人の方が来場した。多くのテレビや新聞等に取り上げられ、1日当たりのHPアクセス数がイベント周知前の1.3倍（約1万アクセス）を記録するなど大変反響があった。

〔開催日〕 令和6年7月6日（土）、7日（日） 10時～17時

〔開催場所〕 あべのハルカス近鉄本店2階 ウェルカムギャラリー※関連イベントは8階・17階

〔内容〕 ステージイベント（トークショー（笑い飯、はに丸・ひんべえ）、古墳群クイズ、ゆるキャラ撮影会等）、名産品ショップ出店、古墳群パネル展 等

※関連イベント：世界遺産裏話、土器展示、はに輪投げ、古代衣装着用体験、土器パズル 等

2 デジタルメディアを活用したPR記事の掲載および広告配信

- ・世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の高い価値と魅力を海外へ発信するため、The New York Times 電子版に掲載しているPR記事への誘導を目的とし、The New York Times のシリーズキャンペーン（JAPAN TRAVEL SERIES BEHIND THE VEIL）等においてネイティブ広告配信を行った。あわせて、海外8カ国をターゲットに設定し高精細映像を活用したYouTube 広告配信を実施するなど、万博開催を前に古墳群の認知度向上の一層の強化を図った。
- ・実績について、ネイティブ広告配信やYouTube 広告配信により、PR記事の閲覧者数であるクリック数（ページビュー数）は、目標（KPI）71,000回を大きく上回る約87,000回となった。また、YouTube 配信におけるクリック数（ページビュー数）はインドネシアが最も多く、動画視聴回数等においても全体的に欧米圏よりアジア圏の方が古墳群への関心層が多いと推察された。これらの広告配信等を通し、多くの方にPR記事を閲覧いただき、古墳群の価値理解を促進することができた。

（実績）

■The New York Times PR 記事

期間	R6.10.24 - R7.3.28
クリック数（ページビュー数）	86,706回

（内訳）

■広告配信（ネイティブ広告）※The New York Times 内での広告

期間	R7.1.3 - R7.3.28
クリック数（ページビュー数）	55,490回（+123%） 目標（KPI）4.5万回

■広告配信（YouTube）

期間	第1回 R6.10.24-R6.11.6	第2回 R6.12.16-R6.12.29	第3回 R7.2.7-R7.2.20	合計
クリック数 （ページビュー数）	10,631回	9,924回	10,661回	31,216回（+120%） 目標(KPI)2.6万回
配信国	インドネシア、タイ、香港、台湾、スペイン、アメリカ、フランス、オーストラリア			

※下線は、クリック数（動画またはタイアップ記事への誘導）が比較的高かった国

3 百舌鳥・古市古墳群ホームページに5周年記念特設ページ設置

- ・世界遺産登録5周年を記念した特設ページを作成した。
- ・多言語版のTOPページデザインを変更した。
- ・これまでに制作したPR映像や「How To トラベル映像」のYouTubeリンクを掲載した。

4 情報発信ツールの作成・整備

- ・「Discover 百舌鳥・古市古墳群」（日・多言語版）・「ウォーキングマップ」について、情報を更新して増刷した。
- ・百舌鳥・古市古墳群の価値理解を促進するツールとして「多言語版リーフレット」を増刷した。
- ・学校や関連施設で活用するためのツール「子ども向けパンフレット」を増刷した。
- ・価値理解促進を図るためにカレンダー(令和7年版)を作成した。

5 価値理解促進事業の実施

令和6年度は、5周年記念事業として実施した（Ⅲ 来訪者対策事業 1参照）。

6 民間事業者等との連携による情報発信

民間企業やその他団体等と連携・協力し、様々なツールや手法を活用したPRを実施した。

連携先	連携内容
株式会社清水音泉 株式会社サウンドクリエイター 読賣テレビ放送株式会社	「OTODAMA 2024」での出展ブースにてパンフレット配架
HOTEL TRAD (2店舗 鶴橋・難波)	パンフレット配架
関西エアポート株式会社 Peach Aviation 株式会社	Peach 新規就航発表イベントへのパンフレット配架及びツール提供
三井不動産株式会社	「エキスポ文化祭 2024 in ららぽーと EXPOCITY」での出展ブースにてパンフレット配架及びツール提供
公益社団法人 日本観光振興協会 一般社団法人 日本旅行業協会 日本政府観光局(JNTO)	「ツーリズム EXPO ジャパン 2024」へのパンフレット配架
BioJapan 組織委員会 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン	「BioJapan2024」での関西広域連合出展ブースへのツール提供
一般財団法人関西観光本部	サイト「関西ガイド」での百舌鳥・古市古墳群PR
大阪観光局	観光案内所でのPR映像の放映及びパンフレット配架
北海道埋蔵文化センター	パンフレット配架

群馬県 日本イコモス国内委員会 群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実 行委員会	「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録 10 周年国 際シンポジウムへのパンフレット配架
縄文遺跡群世界遺産本部 (北海道、青森県、岩手県、秋田県、 千歳市、伊達市、函館市、洞爺湖町、 森町、青森市、弘前市、八戸市、つが る市、外ヶ浜町、七戸町、一戸町、鹿 角市、北秋田市)	「北海道・北東北の縄文遺跡群 世界遺産登録 3 周年記 念 東京フォーラム」へのパンフレット配架
新潟県	世界遺産登録記念フォーラム『「佐渡島(さど)の金山」 と大阪』へのパンフレット配架

7 世界遺産学習会の実施

百舌鳥・古市古墳群や世界遺産に関する理解を深めていただくため、府内博物館などと連携し、学習会を開催した。

No	連携先	日時	内容	参加者数
1	近つ飛鳥博物館	8 月 18 日	講義	68 名
2	高石市	11 月 16 日	講義	26 名

8 その他

① ホームページ（日・英）の活用（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）

セッション数	<u>201,626</u> (内) 日本語 <u>196,786</u> 英語 4,840
ページビュー	<u>359,284</u> (内) 日本語 <u>353,314</u> 英語 5,970

② 後援名義使用承認数 7 件（R5 年度実績 6 件）

③ シンボルマーク・ロゴ使用承認数 7 件（R5 年度実績 13 件）